

もの言う教師のエッセー・・・第376話 コロナは警告する ⑥「キャンセルだらけ」

コロナにより東京オリンピック・パラリンピック（以下東京五輪）が延期され、日本社会に計り知れない衝撃をもたらしたが、それは悪夢の序曲に過ぎなかった。列島が中止・延期、無観客、オンラインなど、通常開催のキャンセルだらけだ。卒業式と入学式、春夏甲子園にはじまり各種スポーツ行事、果てはモータースポーツのF1に至るまで中止の嵐が吹き荒れた。全国津々浦々の夏祭りも軒並み中止か神事のみとなり、京都の祇園祭、大阪の天神祭りやだんじり祭り、毎年200万人以上動員する青森ねぶた祭りも中止。その他コンサート、各種イベントなど枚挙に暇がない。

またそれらは経済に未曾有の危機をもたらした。中止だけならまだいいが倒産の嵐も止まない。負債総額160億円で倒産した大阪府のホテル・リゾート運営受託のWBFホテル&リゾート（大阪府）はその典型例で、他にも百貨店やアパレル関係、旅行・航空業界、エンターテインメント関係、小売り・飲食店などを直撃した。聖書は警告する。

「聞きなさい。『今日か、明日、これこれの町に行き、そこに一年いて、商売をして、儲けよう。』と言う人たち。あなたがたには、明日のことは分からないのです。あなたがたの命は、いったいどのようなものですか。あなたがたは、しばらくの間現われて、それから消えてしまう霧にすぎません。むしろ、あなたがたはこう言うべきです。『主の御心なら、私たちは生きていて、このことを、または、あのことをしよう。』ところがこのとおり、あなたがたはむなしい誇りをもって高ぶっています。そのような高ぶりは、全て悪いことです。」

ヤコブの手紙4章13-16節。

これはもう何も解説が必要ないほどのストレートな警告だ。振り返れば、7年前に開催が決まった東京五輪は、新国立競技場の巨額の建設費問題や過酷な建設現場、現場監督の自殺に始まり、エンブレム・デザインの盗用疑惑、JOCの不正献金疑惑、膨らむ開催費、すったもんだの拳句に札幌へ変更されたマラソン・競歩のコースなど、正に日本人のエゴ・金・欲がむき出しであった。本来の人間が明日の保証もないはかない存在であることも忘れて。武家が退場した明治維新、軍閥が消滅した敗戦のような大変革が、世界規模で起きようとしている。今こそ悔い改め、神に従おう。神に命までキャンセルされる前に。

2020-7-9



今だ休園中でがら空きのディズニーランド周辺 : 6-13-2020 撮影

